



国際ロータリー第2620地区

御殿場 ロータリークラブ



第2030回 例会プログラム

例 会 場 / ホテル御殿場館21

開 会 点 鐘 / 18 : 00

ロータリーソング / それでこそロータリー

内 容 / 炉辺会合・クラブ奉仕委員会

会員慶事

会員誕生日

2月23日 山口幸男君

2月26日 稲葉博之君

夫人誕生日

2月23日 勝又重春君 夫人 佳代子様

結婚記念日

2月21日 井口修一君・あさ様 ご夫妻

会 長 挨 拶

勝又重春



本日は、バレンタインデーです。事務局の滝口敦子さんより、会員の皆さんに心温かいチョコレート・プレゼントです。ありがとうございました。

1. ロータリーのご報告

1905年2月23日は、ポールハリスと3人がシカゴで初めて会合を開いた日で、この日はロータリーの創立記念日です。このようなことから、2月が「世界理解月間」と指定されています。

2. 話のさんぽ道

今日は、「世界理解月間」にちなみ、天竺(インド)の話、「月のうさぎ」について学んでみましょう。

「月のうさぎ」の話は、「身を犠牲にした愛の心」の話として、昔から好まれ語り継がれてきました。

森の中でいつも仲良く遊んでいたキツネとサルとウサギの前に、餓死寸前の老人が現れました。可哀想に思ったキツネとサルは、森を駆け回って食べ物を集め、この老人に食べさせて元気づけました。しかし、不器用で食べ物を見つけれないウサギは、「この身を焼いて食べてください」といって炎の中に飛びこみ、わが身を老人に食べさせようとしてしました。老人は、実は天の神だったので、ウサギの犠牲奉仕の優しさと愛をほめ、ウサギの好きな月の世界に住まわせることにしました。それで、月にウサギが見えるわけです。これと同様の話が、日本の「今昔物語」にも語られています。

作家の瀬戸内寂聴さんが、一昨年、文化勲章を受章した時、「子供たちのための本を書きたい」といい、その一つに「月のうさぎ」を選びました。その理由は、この話が人を感動させ何千年も伝えられてきたのは、自分を犠牲にして人の苦しみを救おうという、心の優しさと愛に感動するからです。このように、本当の愛には打算はなく、愛するもののためには死ねる、という慈悲の極みを語っている、と説いています。

この話は、「ロータリーの奉仕」にも通じていると思います。ウィルフリッドJ. ウイルキンソン R I 会長が、オスカー・ハマー・シュタインの詩を引用しています。

歌は、歌わなければ、歌でない。

鐘は、鳴らさなければ、鐘でない。

心の中の愛は、そこに止めておくべきではない。

愛は、与えなければ、愛ではない。



ロータリーは分かちあいの心

次回
2月28日
の
例会

12 : 30点鐘

東山荘

国際活動教育隊について

駒門駐屯地司令 軽部真和 1 陸佐様

卓話

世界理解月間に因んで 国際奉仕委員会

交換留学生 高橋慶衣様



昨年アメリカカンサス州に留学させていただきました。将来、国際舞台で活躍したいという夢があり応募しました。ロータリーの留学制度の良いところは、事前に何回もミーティングを行って、ビザ取得・保険・心構えなどたくさんのサポートを受けられる事です。

現地ではダウントウンピカRCにお世話になりました。例会出席は月一回で学校を休まないですむように配慮してくれました。ホストの三家族はいずれも陽気で優しく他人とは思えず、一緒に暮らすのが楽しかったです。私も積極的に家事を手伝い、日本食を作ったりしました。学校は私服でメイク・ピアスもOKでした。授業は選択制でオプションの授業を自分で考える必要がありました。個人を尊重し自由な雰囲気ですが、留学生だとしてもまったく差別なし、いきなり難しいクラスになってしまったりで最初は大変でした。テストの時間を長くしてもらうなど、自分からアプローチする大切さを教えられました。

今回の留学は自分の人生のターニングポイントでした。まったく違う環境のなか、大きなスケールで自分探しができたと思います。自分の長所短所を見つめ直し、どんな人生を送るべきかを考える機会になりました。帰国後、大学を決めるにも迷いがなかったし、勉強も一生懸命できました。また日本人のアイデンティティや日本がどう見られているか、愛国心や宗教についてなど学ぶことが多くありました。親善大使の役割や、帰国後話をしたり後輩を指導したりする事に大変意義があります。これからもROTEXとして活動していきます。

交換留学生 鈴木美羽様



留学したベルギーは西ヨーロッパにあり、EU本部が首都ブリュッセルにあります。公用語はオランダ語、フランス語、ドイツ語です。

ホストクラブはRotary club de Marche-en-Famenneでした。交換留学生が多く、同期は200人、日本人は5人、1つのクラブで複数の学生を受け入れていて、他の4人の留学生とも仲良くなりました。例会はいつも夜ワインやビールを飲みながら遅くまで楽しんでいました。

ホストファミリーは四家族で楽しい時間を過ごせました。最初フランス語ができないので、授業がわからない、友達もできないで苦労しました。また文化の違いについては日々発見で驚くことも多かったです。3番目のホストファミリーは社会の先生でした。彼女の担当クラスで、日本とベルギーの違いを話しました。たとえばベルギーでは家族で過ごす時間が長いことです。日本は行事や人間関係も学校中心です。ベルギーも友達はクラスメイト中心ですが、日本のようなクラス内の連帯感はありません。部活もありません。学校は勉強のみ、社会性や人間性は家庭が育むものだそうです。ですから家族団らん何でも話せる温かい雰囲気になりました。ベルギーではお店は夕方6時まで、日曜はお休み、とにかく家庭と職場をはっきり分離しています。

また日本人以外の留学生は必ず国旗を持参していて愛国心について考えさせられました。国旗や国歌は戦争や天皇とは別問題だと思います。日本になにか一つでも好きなものがあれば、それが愛国心でいいのではないのでしょうか。

留学でヨーロッパの視点から日本を見ることができました。留学させていただいた一年に感謝しています。

2/14の出席報告

会員数	計算に用いる 会員数	出席者数	暫定出席率	前々回の 確定出席率
61名	58名	44名	75.86%	100.00%

欠席者(14名)

秋田 敬君・勝又 厚君・渋谷 一君・橋本喜市君
勝又 誠君・内海宣彦君・林 準君・大庭健一郎君
渡辺 巖君・井口修一君・大森清治君・山口幸男君
梶原一正君・芹澤正明君

やむを得ず欠席される方は、午前10時までにご連絡下さい。

2/14のスマイル

1/31のメーキャップ

1月19日 地区青少年 鈴木 栄一君	2月2日 I M 大森 清治君
1月20日 地区青少年 根上 真一君	2月2日 I M 芹澤 正明君
1月31日 静岡 東 水口 正宏君	2月2日 I M 勝又 安彦君
2月1日 裾野 山内 強嗣君	2月2日 I M 嶋田泉太郎君

- ・森之腰50周年記念誌の出版にあたり、戸栗様に出血サービス頂き、12日の式典において披露できました。区民一同感謝し喜びました。立派なものです。ありがとうございました。私ごとですが、市政功労者として表彰を受けました。大変ありがとうございました。菅沼 久君
- ・2月11日の市制記念日に菅沼久さんと共に市政功労者の表彰を受けました。又、過日は大勢の皆様にお世話になり、ありがとうございました。水口正宏君
- ・2月11日に長男が結婚しました。臼井良太君
- ・昭和32年まで、戸栗家は森之腰の住民でした。その事もあり、森之腰の記念誌の仕事をしていただき、表彰までしていただけた。とても光栄な事です。戸栗太平君



副SAA
斉藤礼志君



ソングリーダー
勝又博文君



お誕生日おめでとう
高村繁男君



幹事報告
望月 茂君



出席報告
勝又安彦君



スマイル報告
豊山 篤君



国際奉仕委員会
委員長 鈴木栄一君



第2620地区
御殿場ロータリークラブ

例会日/木曜日

例会場・事務局/YMCA 東山荘

静岡県御殿場市東山1052

電話/0550-83-1133 FAX/0550-83-1138

http://www.gotemba-rc.gr.jp/

会長 勝又 重春
幹事 望月 茂
会報委員長 秋田 悦夫